

県立 3 公園の現状把握の概要

- | | |
|----------------------|-----|
| (1) みよし公園の現状 | P 4 |
| (2) びんご運動公園の現状 | P 8 |
| (3) せら県民公園の現状 | P12 |

1. 県立みよし公園の現状

(1) 県立みよし公園の設置目的

備北地域住民の文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興

(2) 県立みよし公園の変遷

- 平成3年開園から平成13年にかけて順次、施設を拡充（開園から30年が経過）。
- 主要施設は、カルチャーセンター、温水プール、パークゴルフ場、テニスコート、文化の広場、こども広場、しょうぶ園など。
- 三次市の指定緊急避難場所として位置付けられている。

(3) 県立みよし公園の管理運営状況

- 平成17年より、指定管理者による運営を実施。
- 管理運営費（R1支出）は約1.4億円/年を要しているが、利用料金及びその他の収入（R1収入）は、約0.3億円/年であり、不足分は県費で補っている。
- 一人あたりの公共投資額と利用料金をみると、テニスコート（差471円/人）やカルチャーセンター（差381円）で差が大きくなっている。一方でトレーニング室では利用料金が公共投資額を上回っている。

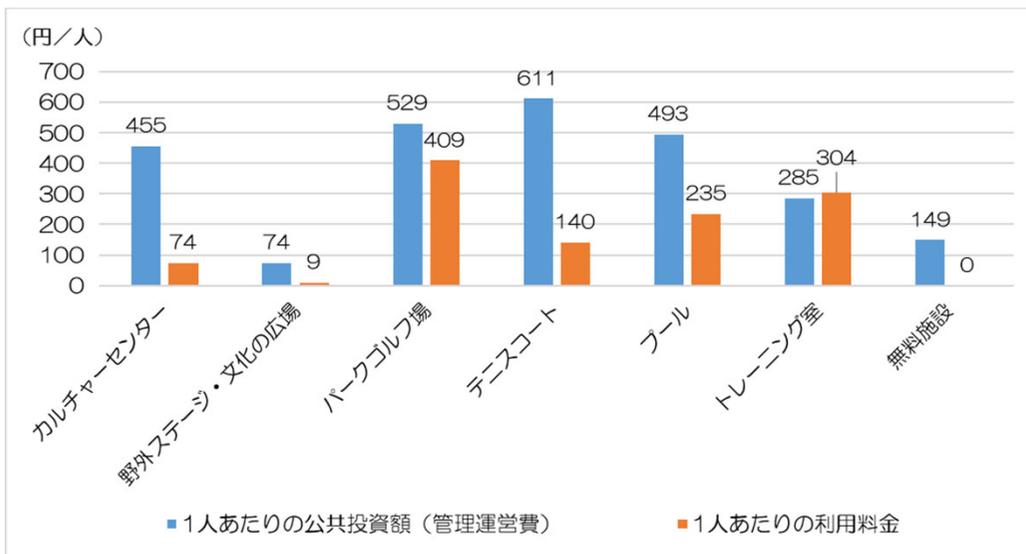


図 施設別公共投資額及び利用料金の比較

- 令和3年度にネーミングライツ導入予定。
- 現時点の施設更新費の予算1.23億円/年に対して、当該公園の長寿命化計画では、今後、老朽化対策費用として約2億円/年が必要となっている。
- 収益の高い施設トップ3は、カルチャーセンター、プール、無料施設の順に多い。

(4) 県立みよし公園のユーザ構造

表 利用ユーザ構造の分析結果概要

項目	分析結果概要																					
利用者人数	【GPS】627～709千人（H28～R1年度）																					
利用者属性	<p>【GPS】70代以上女性（20%）の利用が最も多く、次いで40代男性、70代以上男性が多い</p> <table border="1"> <caption>利用者属性の割合</caption> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60代</th> <th>70代以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>5.2%</td> <td>7.1%</td> <td>13.5%</td> <td>6.4%</td> <td>5.1%</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>1.8%</td> <td>10.5%</td> <td>10.4%</td> <td>3.8%</td> <td>3.9%</td> <td>20.4%</td> </tr> </tbody> </table>	性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	男性	5.2%	7.1%	13.5%	6.4%	5.1%	11.9%	女性	1.8%	10.5%	10.4%	3.8%	3.9%	20.4%
性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上																
男性	5.2%	7.1%	13.5%	6.4%	5.1%	11.9%																
女性	1.8%	10.5%	10.4%	3.8%	3.9%	20.4%																
利用頻度	<p>【GPS】年に1回（72%）が最も多く、次いで半年に1回（25%）</p> <p>【アンケート】週に1回程度の方（31%）が最も多く、次いで年に数回程度が多い</p>																					
利用者の居住地域	<p>【GPS】三次市（51%）が最も多く、次いで庄原市（8%）</p> <table border="1"> <caption>利用者の居住地域</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三次市</td> <td>50.8%</td> </tr> <tr> <td>庄原市</td> <td>7.8%</td> </tr> <tr> <td>福山市</td> <td>4.4%</td> </tr> <tr> <td>東広島市</td> <td>3.7%</td> </tr> <tr> <td>広島市</td> <td>3.9%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>29.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【アンケート】三次市（60%）が最も多く、次いで広島市（13%）、庄原市（8%）</p>	地域	割合	三次市	50.8%	庄原市	7.8%	福山市	4.4%	東広島市	3.7%	広島市	3.9%	その他	29.4%							
地域	割合																					
三次市	50.8%																					
庄原市	7.8%																					
福山市	4.4%																					
東広島市	3.7%																					
広島市	3.9%																					
その他	29.4%																					
利用時間帯	<p>【GPS】年間を通して日中の利用が多く、季節では特に秋の利用が多い</p> <table border="1"> <caption>利用時間帯の割合</caption> <thead> <tr> <th>季節</th> <th>AM</th> <th>PM (日中)</th> <th>PM (夜間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春(3~5月)</td> <td>4.5%</td> <td>13.2%</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>夏(6~8月)</td> <td>6.3%</td> <td>11.7%</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>秋(9~12月)</td> <td>12.7%</td> <td>25.8%</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>冬(12~2月)</td> <td>7.2%</td> <td>11.4%</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table>	季節	AM	PM (日中)	PM (夜間)	春(3~5月)	4.5%	13.2%	1.7%	夏(6~8月)	6.3%	11.7%	1.7%	秋(9~12月)	12.7%	25.8%	9.9%	冬(12~2月)	7.2%	11.4%	2.0%	
季節	AM	PM (日中)	PM (夜間)																			
春(3~5月)	4.5%	13.2%	1.7%																			
夏(6~8月)	6.3%	11.7%	1.7%																			
秋(9~12月)	12.7%	25.8%	9.9%																			
冬(12~2月)	7.2%	11.4%	2.0%																			
利用施設	<p>【GPS】こども・芝生広場（31%）の利用者が最も多く、次いでこどもの広場（22%）となっている。一方で、自由広場（0.4%）やしょうぶ園（3%）は利用が少ない</p> <p>【アンケート】カルチャーセンター（63%）の利用者が最も多く、次いでこどもの広場（41%）、温水プール（41%）。一方で、アトラスの丘（2%）やパークゴルフ場（2%）の利用は少ない</p>																					

【GPS】：GPS分析結果 【アンケート】：利用者アンケート結果
 ※GPS分析はコロナ禍前（H31.3～R2.2）の情報を抽出しており、利用者アンケートはコロナ禍（R3.8～R3.9）で実施したことなどから結果に差異が生じている

(5) 利用者アンケート調査からわかる期待されるニーズ

①公園にあればよいと思う施設

※利用者アンケート結果より

- 「アスレチック (46%)」が最も多く、次いで「バーベキュー場 (35%)」、「キャンプ場 (33%)」、「じゃぶじゃぶ池 (31%)」、「カフェ・レストラン (30%)」、「冒険遊び場 (29%)」、「ボルダリング (26%)」の順に多い。

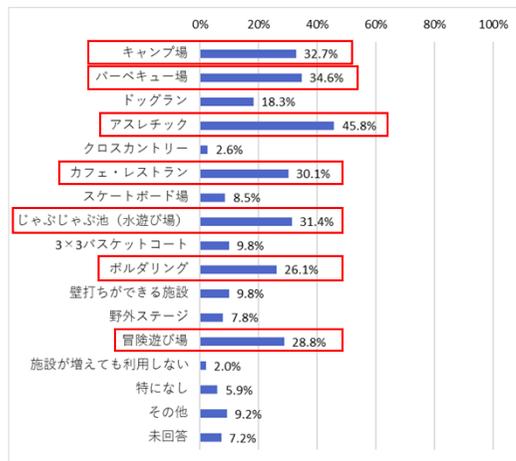


図 公園にあればよいと思う施設 (MA,N=153)

②出来たらもっと利用すると思うもの

※利用者アンケート結果より

- 「プロスポーツ観戦 (35%)」が最も多く、次いで「イベントや催しの開催・参加 (33%)」、「食事や休憩 (33%)」が多い。

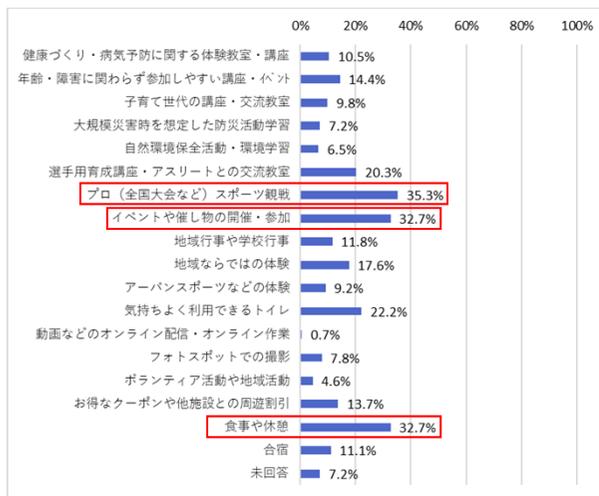


図 できたらもっと利用するもの (MA,N=153)

③利用者からの要望 ※過去の利用者アンケートの結果より

- 施設・設備に対する要望が多く、具体的には、日陰やベンチ設置など滞在環境の改善、駐車場の位置、トイレ設備の充実(洋式化)、散策路への案内看板の設置等

(6) 県立みよし公園周辺で連携の可能性がある周辺施設

- イベント等に対応した多目的広場、レストランなどの施設は、類似する機能を有している周辺施設が多い。
- 現状の県立みよし公園の利用者居住地は、三次市が最も多い傾向にある。それに対して、広島三次ワイナリー周辺、三次もののけミュージアムは、三次市以外のその他の地域から来訪している割合が多い傾向にある。
- その他居住地域からの利用者の誘導を図っていくことを検討する。



図 周辺施設位置図と県立みよし公園までの距離

表 周辺施設の概要

広島三次ワイナリー周辺	三次もののけミュージアム	尾関山公園	国営備北丘陵公園
<p>■主な施設 ワイン工場、ワインショップ、BBQ場、多目的ステージ等</p> <p>■利用傾向 三次市からの利用者が多い傾向にあるが、その他地域からの利用割合も多い。</p>	<p>■主な施設 博物館、交流館、レストラン、イベント広場等</p> <p>■利用傾向 三次市からの利用者が多い傾向にあるが、その他地域からの利用割合も多い</p>	<p>■主な施設 自然遊歩道、展望台、野外ステージ、ゲートボール場等</p> <p>■利用傾向 三次市の割合が最も多く、6割程度占めている。</p>	<p>■主な施設 芝生、遊具、野外ステージ、グランドゴルフ場、レストラン等</p> <p>■利用傾向 三次市からの利用者が多い傾向にあるが、その他地域からの利用割合も多い。</p>

2. 県立びんご運動公園の現状

(1) 県立びんご運動公園の設置目的

備後地域のスポーツと多様なレクリエーション活動の振興

(2) 県立びんご運動公園の変遷

- 平成5年開園から平成14年にかけて順次、施設を拡充（開園から28年が経過）。
- 主要施設は、陸上競技場、球技場、野球場、健康スポーツセンター、テニスコート、多目的広場、プール、冒険の森、自由広場、オートキャンプ場など。
- 平成6年にアジア競技大会、平成8年に第51回国民体育大会の会場として利用された（スポーツ施設は比較的高水準で整備）。
- 緊急物資の輸送拠点として広島県緊急輸送道路ネットワーク計画で位置付けられている。

(3) 県立びんご運動公園の管理運営状況

- 平成20年より、指定管理者による運営を実施。
- 管理運営費（R1支出）は約2.4億円/年を要しているが、利用料金及びその他での収入（R1収入）は、約0.8億円/年であり、不足分は県費で補っている。
- 一人あたりの公共投資額と利用料金をみると、キャンプ場（差1169円/人）や球技場（差907円/人）、陸上競技場（差629円/人）で差が大きくなっている。

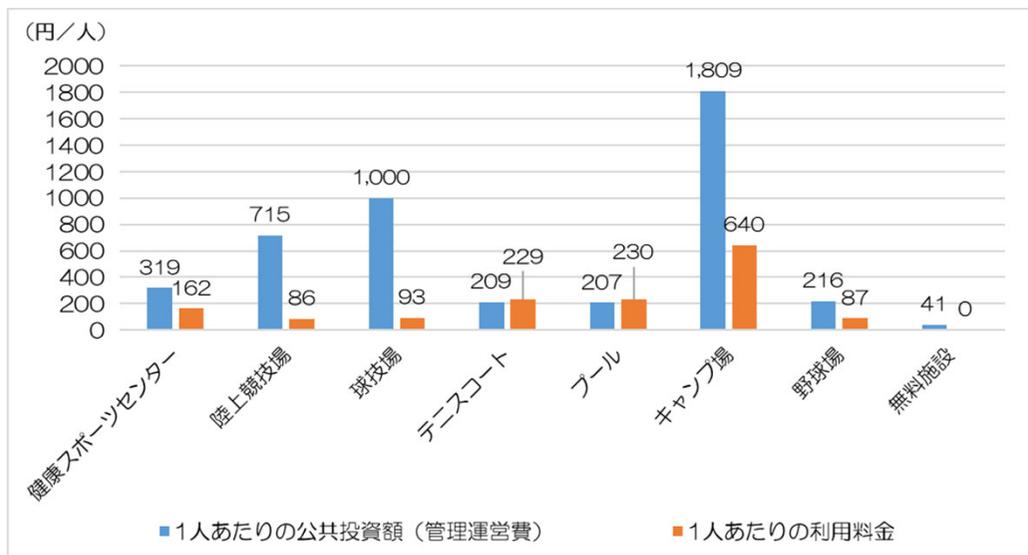


図 施設別公共投資額及び利用料金の比較

- 現時点の施設更新費の予算1.26億円/年に対して、当該公園の長寿命化計画では、今後、老朽化対策費用として約4億円/年が必要となっている。
- 収益の高い施設トップ3は、健康スポーツセンター、テニスコート、プールの順に多い。

(4) 県立びんご運動公園のユーザ構造

表 利用ユーザ構造の分析結果概要

項目	分析結果概要
利用者人数	【GPS】577～730千人（H28～R1年度）
利用者属性	<p>【GPS】40代女性（15%）が最も多く、次いで70代以上男性、40代男性が多い</p>
利用頻度	<p>【GPS】年に1回（64%）が最も多く、次いで半年に1回（32%）となっており他公園と比較してリピーターが多い</p> <p>【アンケート】週に1回程度の方（31%）が最も多く、次いで週に2～3回程度が多く週に1回以上利用している人は全体の2/3を占めている。</p>
利用者の居住地域	<p>【GPS】尾道市（47%）が最も多く、次いで福山市（12%）、三原市（10%）</p> <p>【アンケート】尾道市（63%）が最も多く、次いで福山市（17%）、三原市（7%）</p>
利用時間帯	<p>【GPS】年間を通して日中の利用が多く、季節では大きな差は見られない</p>
利用施設	<p>【GPS】健康スポーツセンター（36%）の利用者が最も多く、次いで、テニスコート（15.3%）となっている、一方で、オートキャンプ場（0.8%）や冒険の森（3.6%）は利用が少ない</p> <p>【アンケート】プール（36%）の利用者が最も多く、次いでテニスコート（31%）、冒険の森（遊具の広場）（26%）となっている。一方、野球場（3%）やオートキャンプ場（6%）では利用が少ない</p>

(5) 利用者アンケート調査からわかる期待されるニーズ

①公園にあればよいと思う施設

※利用者アンケート結果より

- 「カフェ・レストラン (37%)」が最も多く、次いで「ボルダリング (31%)」、「アスレチック (29%)」、「バーベキュー場 (28%)」の順に多い。

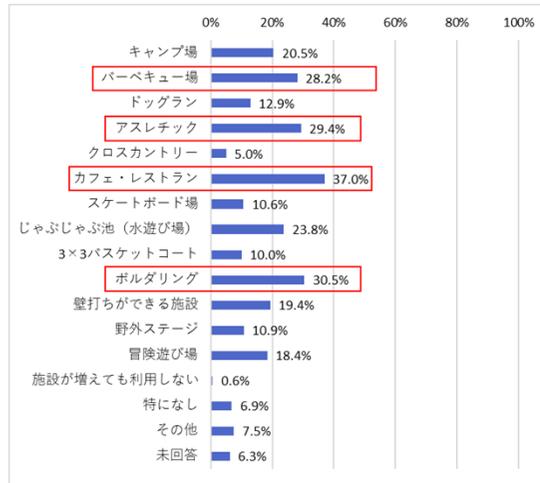


図 公園にあればよいと思う施設 (MA,N=479)

②出来たらもっと利用すると思うもの

※利用者アンケート結果より

- 「プロスポーツ観戦 (41%)」が最も多く、次いで「食事や休憩 (33%)」、「気持ちよく利用できるトイレ (30%)」の順に多い。

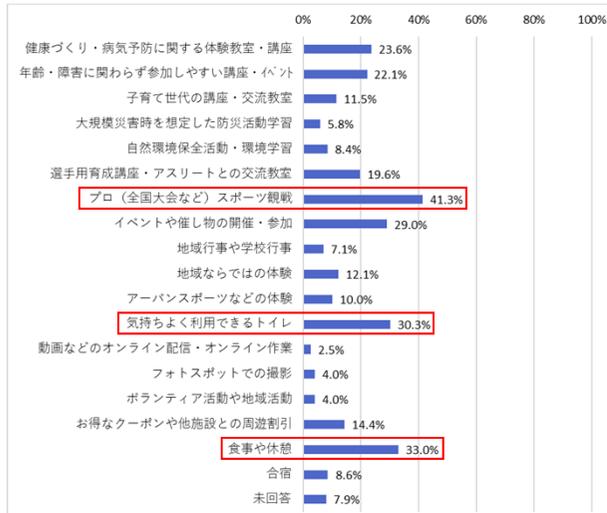


図 できたらもっと利用するもの (MA,N=479)

③利用者からの要望 ※過去の利用者アンケートの結果より

- 施設・設備に対するものが多く、上記のアンケート調査結果のほか、具体的には、「球技場の芝生化 (人工芝も可)」、「ドッグランの整備」、「陸上競技場の照明料金徴収の在り方」、「スケートボード場の整備」、「3on3バスケットコートの整備」、「ウォーキングコースや歩道の整備」、「植栽 (花) の充実」、「駐車場の整備」、「新しい設備への入れ替え」、「Wi-Fi・光回線環境の整備」等が挙げられている。

(6) 県立びんご運動公園周辺で連携の可能性がある周辺施設

- 利用者が休憩やイベント等に対応した芝生広場の施設は、類似する機能を有している周辺施設が多い。
- 現状の県立びんご運動公園は、所在地の尾道市からの利用者が多い傾向にある。一方で、千光寺公園はその他の割合が多く、エフピコアリーナふくやま芦田川かわまち広場は、近隣の福山市からの利用者が多い傾向にある。
- 利用者の居住地が異なる特性を活かして、施設間の連携を図り、複数の施設を利用できる工夫を行うことが考えられる。
- 尾道市の観光地との連携を図っていくことを検討する。



図 周辺施設位置図と県立みよし公園までの距離

表 周辺施設の概要

千光寺公園	エフピコアリーナふくやま芦田川かわまち広場
<p>■主な施設 千年寺、尾道市立美術館、展望台、ロープウェイ、レストラン、売店、芝生広場、グラウンド等</p>	<p>■主な施設 メインアリーナ、武道場、クライミングウォール、トレーニング室、芝生広場、バーベキューテラス、スケートボードパーク等</p>
<p>■利用傾向 尾道市からの利用者が多い傾向にあるが、その他地域からの利用割合も多い。</p>	<p>■利用傾向 福山市の割合が80%程度占めている</p>

3. 県立せら県民公園の現状

(1) 県立せら県民公園の設置目的

県民の安らぎ交流拠点の創出、地域交流や自然との触れ合いを通じて心身を癒し、リフレッシュできる場の創出

(2) 県立せら県民公園の変遷

- ・平成18年開園から平成23年にかけて順次、施設を拡充（開園から15年が経過）。
- ・主要施設は、交流広場、多目的広場、ミニチュアガーデン（遊具広場）、レクリエーション広場（グラウンドゴルフ）、レクリエーション広場、のんびり草原、展望広場、自然観察園など。

(3) 県立せら県民公園の管理運営状況

- ・平成17年より、指定管理者による運営を実施。
- ・指定管理者への委託事業の収支は平成30年、令和元年ともにバランスしている。
- ・管理運営費（R1支出）は約0.2億円/年を要しているが、収入がないため、不足分は全て県費で補っている。また、現時点の施設更新費の予算0.07億円/年に対して、当該公園の長寿命化計画では、今後、老朽化対策費用として約1億円/年が必要となっている。
- ・維持管理コストは、一人当たり公共投資額で144～171円の間で推移している。

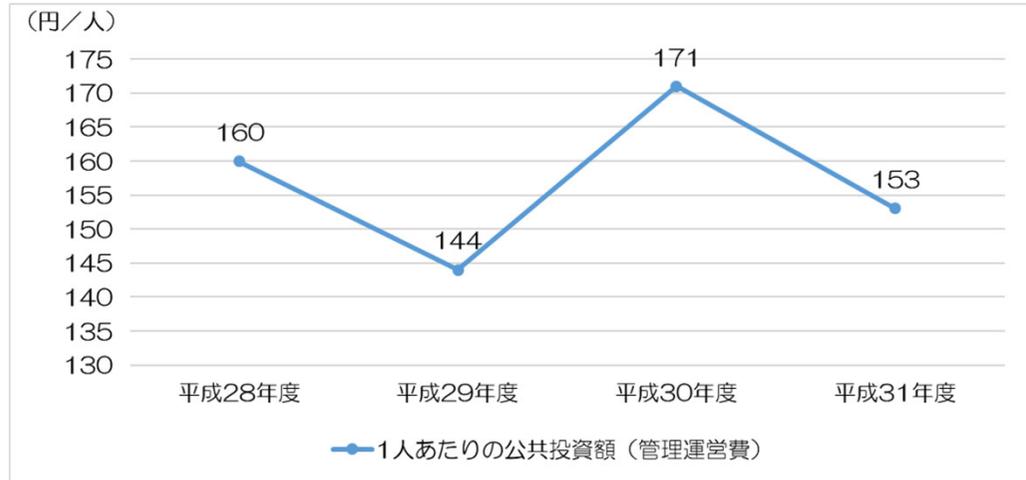


図 維持管理コスト推移（1人あたりの公共投資額）

- ・有料施設がないため、収益はない。（委託料のみ）
- ・せら夢公園サポーターズクラブ（県民による自主運営組織）により、環境学習などを企画、運営している。

(4) 県立せら県民公園のユーザ構造

表 利用ユーザ構造の分析結果概要

項目	分析結果概要
利用者人数	【GPS】148～156千人
利用者属性	<p>【GPS】70代以上女性（16%）の利用が最も多く、次いで70代以上男性、60代男性が多くなっており、高齢者の利用が多い</p>
利用頻度	<p>【GPS】年に1回（89%）が最も多く、次いで半年に1回（11%）</p> <p>【アンケート】年に数回程度の方（45%）が最も多く、次いで月に1～2回程度が多くなっており、週に1回以上利用している人（8%）は少ない</p>
利用者の居住地域	<p>【GPS】福山市（18%）が最も多く、次いで呉市（11%）、尾道市（9%）となっており、比較的広域的な利用</p> <p>【アンケート】世羅町（16%）が最も多く、次いで東広島市（12%）、福山市（10%）</p>
利用時間帯	<p>【GPS】年間を通して日中の利用が多く、季節では春の利用が最も多い</p>
利用施設	<p>【GPS】交流広場（45.0%）の利用が最も多く、次いでミニチュアガーデン（24%）となっている。一方で、自然観察園（2%）や多目的広場（3%）は利用が少ない</p> <p>【アンケート】自然観察園（53%）の利用者が最も多く、次いでのんびり草原（38%）、多目的広場（31%）となっている。一方、ミニチュアガーデン（13%）やレクリエーション広場（25%）では利用が少ない</p>

(5) 利用者アンケート調査からわかる期待されるニーズ

①公園にあればよいと思う施設

※利用者アンケート結果より

- 「キャンプ場 (30%)」が最も多く、次いで「カフェ・レストラン (29%)」、「バーベキュー場 (28%)」、「冒険遊び場 (27%)」の順に多い。

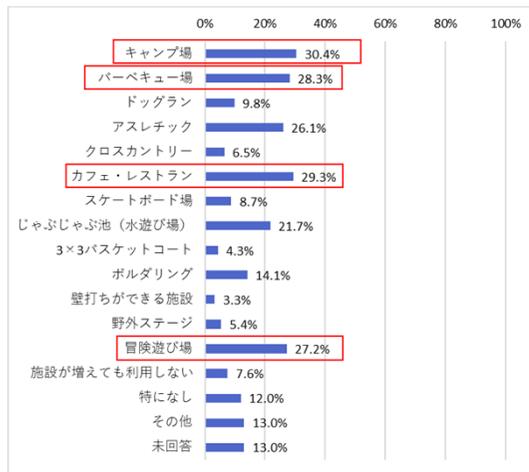


図 公園にあればよいと思う施設 (MA,N=92)

②出来たらもっと利用すると思うもの

※利用者アンケート結果より

- 「食事や休憩 (41%)」が最も多く、次いで「自然環境保全活動・環境学習 (37%)」、「イベントや催し物の開催・参加 (33%)」の順に多い。

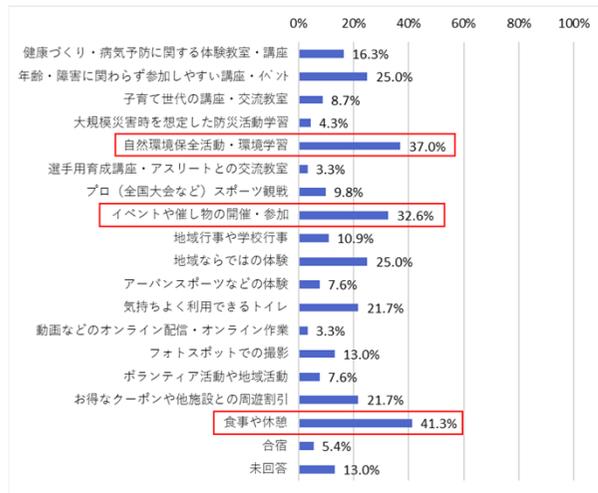


図 できたらもっと利用するもの (MA,N=92)

③利用者からの要望 ※過去の利用者アンケートの結果より

- レクリエーション広場へのトイレ追加・洋式化や、クロスカントリーコースの整備、駐車場の舗装などの要望がある

(6) 県立せら県民公園周辺で連携の可能性がある周辺施設

- 利用者が休憩やイベント等に対応した芝生広場の施設は、類似する機能を有している周辺施設が多い。
- 現状の県立びんご運動公園は、所在地の尾道市からの利用者が多い傾向にある。一方で、千光寺公園はその他の割合が多く、エフピコアリーナふくやま芦田川かわまち広場は、近隣の福山市からの利用者が多い傾向にある。
- 利用者の居住地が異なる特性を活かして、施設間の連携を図り、複数の施設を利用できる工夫を行うことが考えられる。
- 尾道市の観光地との連携を図っていくことを検討する。

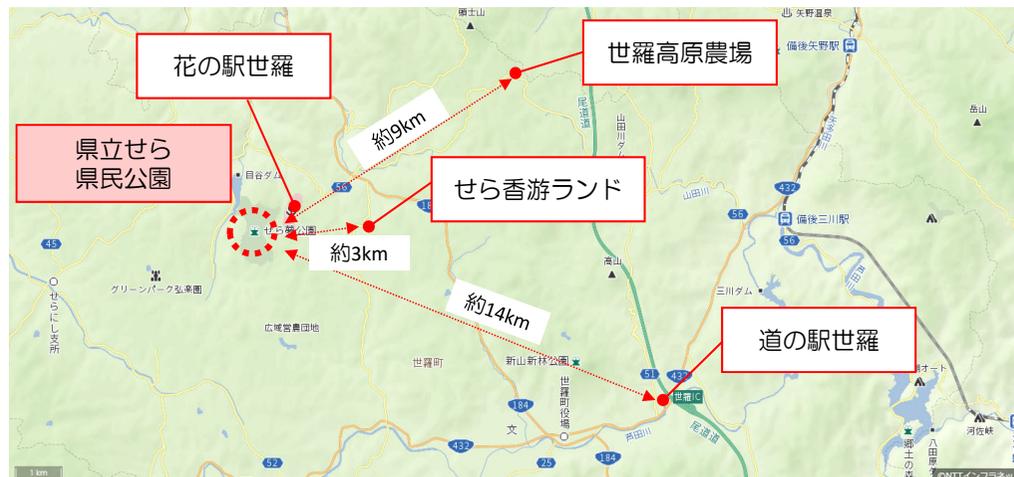


図 周辺施設位置図と県立みよし公園までの距離

表 周辺施設の概要

世羅高原農場	せら香遊ランド	道の駅世羅	花の駅世羅
<p>■主な施設 農園、売店、カフェ・レストラン等</p>	<p>■主な施設 レストラン、温泉施設、宿泊施設、研修施設、キャンプ場、テニス等</p>	<p>■主な施設 レストラン、売店、観光案内所等</p>	<p>■主な施設 花農園、売店、カフェ、展望台、オートキャンプ場等</p>
<p>■利用傾向 福山市からの利用が最も多い傾向が、その他地域からの利用割合も多い。</p>	<p>■利用傾向 世羅町や東広島市からの利用が多い傾向にある。</p>	<p>■利用傾向 福山市からの利用が最も多い傾向が、その他地域からの利用割合も多い。</p>	<p>■利用傾向 福山市からの利用が最も多い傾向が、その他地域からの利用割合も多い。</p>